

# 第97期 中間報告書

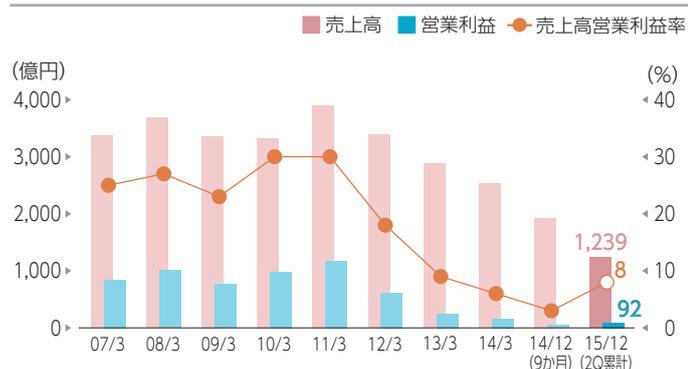
2015年1月1日～2015年6月30日

ハイテクガラスで未来をつくる  
日本電気硝子株式会社

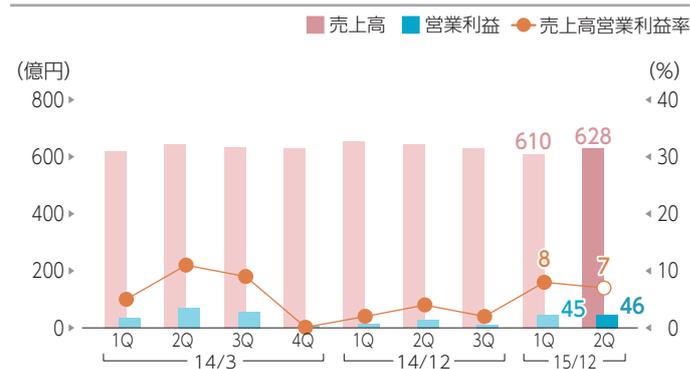
Art by Shinichiro Aikawa

## 連結財務ハイライト (Q: 四半期)

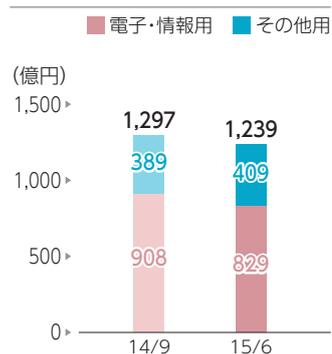
### 売上高・営業利益・売上高営業利益率



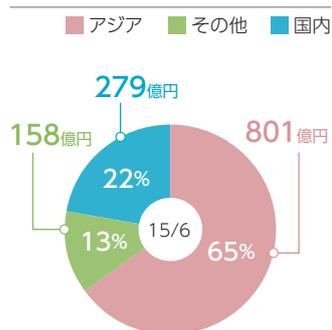
### 四半期 売上高・営業利益・売上高営業利益率



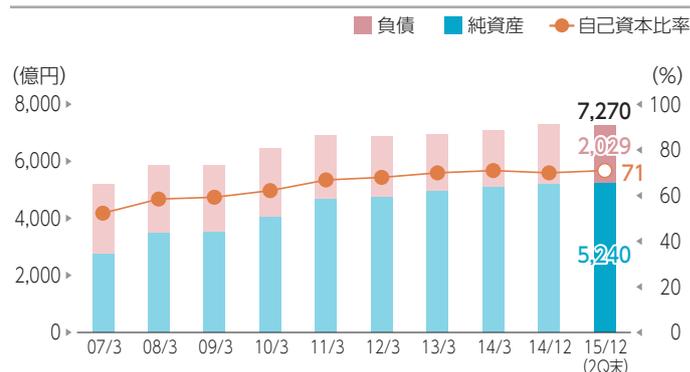
### 部門別売上高 (2Q 累計)



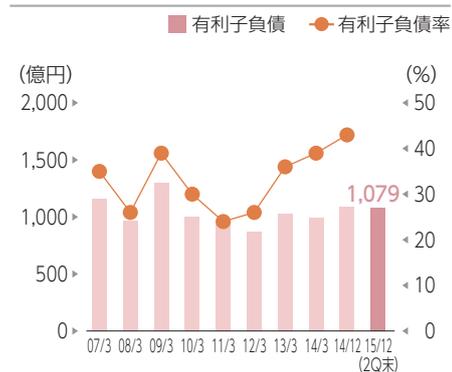
### 地域別売上高 (2Q 累計)



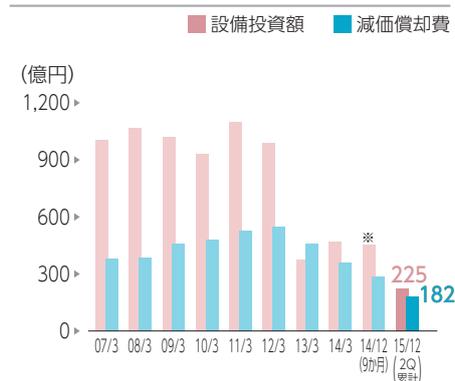
### 負債・純資産・自己資本比率



### 有利子負債・有利子負債率 (有利子負債 / 売上高)

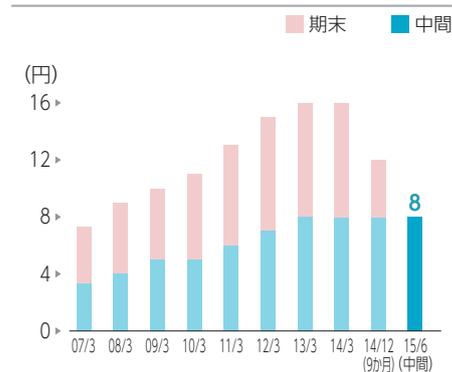


### 設備投資額・減価償却費



\* 海外子会社の1～3月の設備投資額を含んでいます。

### 1株当たり配当額の推移



(注) 過去の株式分割の影響を調整のうえ記載しています。



## TOP MESSAGE

### 収益の改善が進展し、業績の反転へ。

社長 松本 元春

#### 上半期は想定どおりに進捗

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度上半期(2015年1月1日～6月30日)においては、欧州におけるギリシャ債務問題や中国経済の減速など先行きに不透明感はありましたが、世界経済は全体としては緩やかな回復が続きました。

このような中、当社グループの上期の売上高は、概ね想定どおりの進捗となりました。液晶用ガラスは価格の下落が続いたものの、下落幅は縮小し、出荷は着実に増加しました。また、光関連ガラスやガラスファイバなどは、通信インフラや自動車の需要に沿って堅調に推移しました。損益面では、生産性改善や費用削減が進展し、前年度と比べた収益性は大きく改善しました。一方、当社はこのたび休止状態にあった藤沢事業場(医薬用管ガラスの生産拠点)の閉鎖を決定し、設備や建物の撤去を進めてまいります。医薬用管ガラスについては大津事業場とマレーシア子会社に生産を集約し、効率を高め事業を運営してまいります。

#### 最重要課題への取り組み状況

##### 液晶用ガラスのコストは改善傾向

今期は、業績の反転を目指し、「液晶用ガラスの利益回復」と「ノンディスプレイ分野の拡大」を最重要課題とし

て取り組んでいます。液晶用ガラスはコストが改善し、価格が低下する中でも利益が確保できる体制が整ってきました。これには電気硝子(Korea)が生産・コストの両面で大きく貢献しています。足下では、溶融・成形拠点の電気硝子(廈門)(本年度末稼働予定)と加工拠点の電気硝子(南京)(来年度第2四半期稼働予定)の建設を順調に進めており、成長市場である中国で溶融・成形からの一貫生産体制により、更なる事業競争力の向上を目指してまいります。

##### ノンディスプレイ分野も着実に成長

ガラスファイバは、3月末にマレーシアで新設備を稼働させ、自動車部品向け高機能樹脂の需要拡大に対応しています。光関連ガラスや電子デバイス用ガラスは通信や家電など関連市場の需要増加に沿って販売を伸ばすとともに、新製品の開発や育成にも注力しています。また、医薬用管ガラスは、マレーシアの生産能力の増強が完了し、医療需要が拡大する新興国市場への販売をはじめ、今後も積極的に拡販を進めてまいります。

なお、中間配当は前年中間期と同額となる1株当たり8円とさせていただきます。今後とも、業績の回復に向け全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## TOPICS

### 新製品 抗菌ガラス「DL-7900」を開発

近年、浴槽や洗面所などの住宅設備や人の手に触れることが多い雑貨品などでは抗菌性能を持った樹脂が使用されるケースが増えており、通常このような樹脂には抗菌ガラス等の抗菌材料が含まれています。当社は、一般的な銀系抗菌ガラスの特徴である樹脂との反応による変色(茶褐色)のデメリットを解消し、大幅に抗菌性能を向上させた新材料の開発に成功しました。

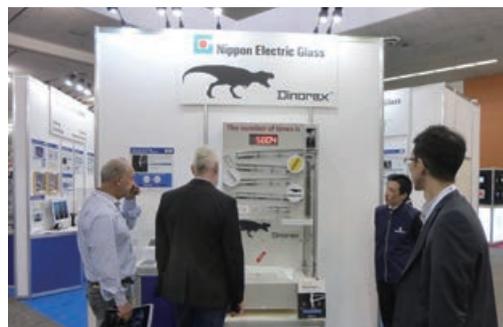


抗菌ガラス「DL-7900」

# SID Display Week 2015

2015年6月2日～4日 米国・サンノゼ

SID(Society for Information Display:国際情報ディスプレイ学会)の主催する、世界で最も権威のあるディスプレイ関連のイベント、SID Display Week 2015の展示会に出展しました。毎年1回、シンポジウムやセミナーなどと同時期に開催され、今回は、大手IT企業が集中するシリコンバレーのサンノゼが会場となりました。世界各国からディスプレイやIT業界のトップ、学者や技術者など約6,000人が参加、約200社の企業が出展しました。



当社ブース



フレキシブル有機EL照明

当社は、化学強化専用ガラス<Dinorex®>、超薄板ガラス<G-Leaf®>、超薄板ガラス-樹脂積層体<Lamion®>のほか、電子デバイス用ガラスや薄膜技術を紹介しました。

スマートフォンやタブレットのカバーガラスとして使われる<Dinorex®>は、採用製品を展示するとともに、重さ0.5kgもの鋼球を<Dinorex®>の上に落下させるデモンストレーションで、大きな衝撃にもびくともしない強靭さをアピールしました。

<G-Leaf®>は、薄さ35μmのガラスロールと、他社が追従できない幅1.2m、長さ150m、薄さ50μmのガラスロールを展示しました。このほか、用途開発の一例として<G-Leaf®>を基板として使用した有機EL照明パネルも展示しました。

さらに今回、<G-Leaf®>がSID Best in Show Award

2015を受賞しました。この賞は、応募対象品の中でディスプレイに最も意義深い進化をもたらす技術や製品に贈られ、約200社の出展社の中から当社を含む5社が選ばれました。当社の超薄板ガラスの技術力が高く評価されました。



SID Best in Show Award 2015の楯



幅1.2m、長さ150m、薄さ50μmの<G-Leaf®>

# ITEM2015

2015年4月17日～19日 横浜

2015国際医用画像総合展(ITEM2015)に出展しました。CT(※1)やアンギオグラフィー(※2)などの操作室窓に使われる放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム>を展示し、薬品付着や水拭きによるガラスの“くもり”(※3)が発生しない高いメンテナンス性能をPRしました。この他、放射線だけでなく電磁波も遮へいする<MR-LITE>、PET(※4)検査室に最適なガンマ線遮へい用ガラス<Pro-GR>などを展示し、来場した医療従事者や関係者の注目を集めました。



当社ブース

※1 コンピュータ断層撮影 ※2 血管造影検査 ※3 ガラス中の鉛成分が水や脂質などと反応して生じるもの。「やけ」とも言う  
 ※4 陽電子放射断層撮影。がん検査法の1つ

## 会社概要

創 立 1949年12月1日  
 商 号 日本電気硝子株式会社  
 本 社 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号  
 TEL 077(537)1700(代表)  
 FAX 077(534)4967  
 資 本 金 32,155百万円  
 従 業 員 数 4,954名(連結)  
 営 業 所 大阪・東京  
 事 業 場 大津・滋賀高月・能登川・若狭上中・  
 精密ガラス加工センター  
 主要事業内容 特殊ガラス製品の製造・販売  
 連結子会社 国内12社  
 海外12社(マレーシア・韓国・中国・台湾等)  
 ホームページアドレス <http://www.neg.co.jp/>

## 取締役および監査役／執行役員

取締役会長 (代表取締役)	有 岡 雅 行	社長執行役員	松 本 元 春
社 長 (代表取締役)	松 本 元 春	専務執行役員	山 本 茂
取 締 役	山 本 茂 筈 本 雅博 竹 内 宏和 佐 伯 彰久 津 田 幸一 小田野 純丸※1	常務執行役員	筈 本 雅博 竹 内 宏和 佐 伯 彰久 津 田 幸一
常勤監査役	来 住 富治夫 應 治 雅彦	執行役員	大 浴 成一 青 木 重明 後 藤 茂正 金 井 敏樹 山 崎 博輔 前 中 祐 岸 本 暁 中 村 憲生 竹 内 清秀 中 川 邦広 野 村 博明 久 保 正也 松 宮 晴樹
監 査 役	石 井 和也※2 木 村 圭二郎※2		

※1 社外取締役  
 ※2 社外監査役

## 株式の状況 (2015年6月30日現在)

### 株式に関する事項

発行可能株式総数 1,200,000,000株  
 発行済株式の総数 497,616,234株  
 単元株式数 1,000株  
 株主数 14,432名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ニプロ株式会社	70,200	14.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,459	6.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	26,121	5.3
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	13,357	2.7
SAJAP	10,605	2.1
THE BANK OF NEW YORK 133524	8,427	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	8,284	1.7
株式会社滋賀銀行	8,089	1.6
BNPパリバ証券株式会社	6,672	1.3
JUNIPER	6,331	1.3

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 毎年3月  
 基準日 定時株主総会関係・期末配当金支払関係  
 毎年12月31日  
 中間配当金支払関係  
 毎年6月30日  
 上場証券取引所 東京(市場第一部)  
 株主名簿管理人および  
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号  
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)  
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 (電話照会先) ☎0120-782-031  
 (インターネットURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
 公告の方法 電子公告(<http://www.neg.co.jp/>)  
 ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

### 株式に関するお問い合わせ先

内容	お問い合わせ先
支払期間経過後の配当金について 特別口座に関する事項※1 (特別口座から一般口座への振替請求等)	三井住友信託銀行(株) ☎0120-782-031
氏名・住所等の変更 配当金の受領方法(振込先等)の指定 単元未満株式の買取・買増請求※2	口座を開設されている証券会社等 *口座を開設されていない方は 上記三井住友信託銀行(株)

※1 特別口座のまま売買等を行うことはできず、一般口座への振替えが必要で。

※2 当社での買取りまたは1単元(1,000株)に不足する数の株式を当社から買増することができます。  
 なお、当社での手続きに係る費用は無料です。